



2025年(令和7年)1月7日

第3学年主任 亀井 翔一

2025年もよろしくお願ひします

とうとう2025年になりました。みなさん、本年もよろしくお願ひします m (_) m

今日は最初の登校日でした。久々に仲間の顔を見ることができて明るい表情の人たちが多かったように感じます。13日間という冬休みでしたが、みなさんは年末年始をどのように過ごしたのでしょうか。2024年最後の学年集会では、池田先生が「冬休み期間中の生活について」のお話や、有留先生からはいよいよ迎える「受験本番に向けて」といったお話しがありました。

みなさんは先生方のお話をどのように受け止め、どのようにこの冬休みを過ごしたか、ぜひ振り返ってみてください。そして、振り返ったときに、自分自身が大きく変わった冬休みにすることができたと思えているでしょうか。

ちなみに、2024年最後の学年集会で、亀井からは「仲間の存在」と「時間は平等」という話をしました。

「時間は平等」については、合格を競い合う相手と受験するまでの日数や時間が人によって変わることはありません。冬休み中の取り組みは人によって様々だと思いますが、本番を迎えるにあたってはこれまでの自分自身の取り組みが「自信」になります。「自信」を持つことができれば、試験に対しても落ち着いて取り組める大きなアドバンテージを得るでしょう。

多かれ少なかれ、みんな不安を持っています。その不安をなくすための取り組みとして努力があります。時間はあっという間に過ぎてしましますが、まだ時間はあります。この残された時間でどのような取り組みができ、どれくらいの「自信」を持つことができるか自分ができる限りの努力を続けてください。そして、自分に「自信」を持って、これまで取り組んで身に付けてきた力を発揮できるようになってほしいと思います。

そして、みなさんにはこの言葉を伝えたいと思います。

最後まで…希望を捨てちゃいかん。諦めたら試合終了だよ。

これは、バスケットボール漫画の「SLAMDUNK」に登場する安西先生というキャラクターが試合中、圧倒的不利な状況で諦めかけていた登場人物に向けて発した言葉です。何事も最後の最後まで何が起こるかわかりません。一見、自分にとって有利とは思えない状況でも、最後まで諦めないことで一変することもあります。

人生において、諦めない気持ちと取り組みは、自分に何らかの変化をもたらしてくれます。希望する未来へ向かっていくためにも、最後まで全力で取り組んでいきましょう。

保護者のみなさまへ

昨年度は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、いよいよ3年生にとっては進路に向けて架橋を迎える時期となりました。ここからは提出書類の準備や手続きの期日など、進路に関わる様々なことに対して、より一層の確認を必要とします。進路に関しては「進路通信」を参考にして頂くだけではなく、必ず受験（受検）校に関わる資料に目を通して準備を進めていただくようお願いいたします。

何か不明な点がありましたら、担任や学年職員までお知らせください。

初日の出

2025年の初日の出です。見るができなかった人たちへのお裾分け。良い1年にしましょう！

